《　コラム　》Vol. 6
ラテックス製品＆ラテックスについて

今回はラテックス製品＆ラテックスについてお話したいと思います。
ラテックス製品としては薄手の手袋やコンドームなどが一般的に知られています。
ノビサックの様な指先までカバーできる指サックや風船などもラテックス製品です。
簡単に言いますと袋形状の製品になります。
なぜ袋形状なのかと言いますと、これには製品の製造工程に理由があります。

ラテックス製品は、ラテックスと呼ばれる液体の原料に、製品の形状をした型を浸漬させて作られます。
串カツをソースの中に付けるような感じです。
型の周りに付着したラテックスがそのまま製品の形となります。
型の周り全体にラテックスが付着してしまいますので、どうしても製品は袋形状になってしましします。
なので、ラテックス製品は丸みのある袋形状のものが多いです。
鋭角な製品には不向きです。

話は変わりますが、ラテックスとはいったい何なのでしょう？
ラテックスとは見た感じ牛乳のような液体で、水の中にゴム分子が分散している液体状のゴムのものことを云います。
水の中に細かいゴムの粒子が漂っている感じです。
天然ゴムの粒子が水の中に分散している＝天然ゴムラテックス、合成ゴムが水の中に分散している＝合成ゴムラテックスと言います。
ご存知の通り、ノビサックは天然ゴムラテックスから作られております。

天然ゴムラテックスはゴムの木の樹液から作られます。
因みに現在の天然ゴムの生産量世界一はタイランドです。
ゴムの木から採取されるラテックスは濃度が薄く、サラサラとした感じです。
このままだとラテックス製品を製造するのが難しいので、遠心分離機で水分を飛ばしてラテックスの濃度を濃くします。
市場に出ている天然ゴムラテックスは、水中のゴム分の濃度を60%まで濃くして販売されています。（濃縮された牛乳のような感じです。）

実は天然ゴムラテックスは、ラテックスのまま市場に供給されるのはごく一部で、多くは固形ゴムとして市場に出ているみたいです。

ちょっと余談になります。
固形の天然ゴムはこの天然ゴムラテックスからさらに水分を抜いて固めて作られています。
ラテックスから水分を取るために、水の中のゴム分を強制的に固めてしまいます。
どうやって固めるかというと、酢酸（お酢）をラテックスに混ぜます。
酢酸で水の中のゴム同士がくっついて大きな塊になります。
酢酸を使うので、天然ゴムの生成工場は酸っぱい臭いがします。
（その場で味なしのイカそうめんを食べると、よっちゃんイカの味がします・・・ウソです。^ ^）
ゴムの塊をローラーでシート状にして乾燥させます。
乾燥の際に長期保存のためにスモークで燻製にします。
そのために生の天然ゴムは燻製の美味しそうな匂いがします。（食べられません。）

話しを天然ゴムラテックスに戻します。
天然ゴムラテックスの価格は、現在 1 Kg 当り¥180 前後でしょうか。
でもラテックスの濃度は 60%なので、ゴムの価格としてはもっと高くなります。
天然ゴムラテックスの価格は、当然の事ですが需要と供給のバランスで変動します。
天然ゴムラテックスはゴムの木から採れますので、農作物と一緒で供給量は気候に左右されます。
その年の雨量や天候の関係などで価格が上下したりします。
需要の方はと言いますと、おそらく天然ゴムが一番歩多く使われているのは、自動車のタイヤと思われます。
中国の自動車の生産量が多くなった年は、天然ゴムラテックスの価格も上昇したみたいです。
話が長くなりますので、今回はこの辺で。